

平成25年度決算について

本州四国連絡高速道路株式会社の平成25年度(第9期)決算についてお知らせします。

1. 決算概要

2. 決算資料

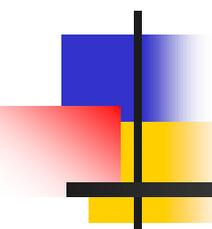
[個別決算]

- ・事業報告
- ・貸借対照表
- ・損益計算書
- ・株主資本等変動計算書
- ・個別注記表
- ・附属明細書

[連結決算]

- ・連結貸借対照表
- ・連結損益計算書
- ・連結株主資本等変動計算書
- ・連結注記表

平成26年6月9日
本州四国連絡高速道路株式会社



平成25年度決算概要

(平成25年4月1日～平成26年3月31日まで)

- 平成25年度事業概要
- 平成25年度経営及び財政状況(連結・個別)
- 平成26年度業績見通し(連結・個別)

事業概要(高速道路事業)

お客様に**[安全]****[安心]****[快適]**に利用していただけるよう、円滑に業務を実施しました。

- 当期の通行台数は3,998万台(前年同期比2.8%増)、料金収入は653億円(前年同期比2.1%増)となりました。
- 道路資産賃借料は、機構への支払額が増加し、前年同期と比べ8億円増の466億円となりました。なお、年度当初に定められた額よりも90億円多く機構へ支払いました。
- 休日普通車以下の「一定の割引(終日5割引を割引率50%～約55%に拡大)」、平日時間帯割引等を継続しました。
- より安全・安心・快適にご利用いただくため、アセットマネジメントの考え方により、舗装補修、長大橋塗替塗装、耐震補強、橋梁のコンクリート剥落防止対策などの修繕工事を実施し、道路清掃等の維持作業、構造物補修・取替えなど適切な維持補修を実施するとともに、業務の効率化等によりコスト削減に努めました。

舗装補修



長大橋塗替塗装(瀬戸大橋)



耐震補強(茶間川橋)



事業概要(関連事業)

- お客様サービス向上のため、SA・PAにおいて各種イベントを実施するとともに、施設の整備・充実、混雑対策等を実施しました。
 - 淡路SA(下り)休憩施設のリニューアル
 - SA・PAに仮設トイレの設置、駐車場に交通整理員を配置(混雑期)
- 今治市から来島海峡大橋送水管添架工事を受託しました。
- 長大橋の建設・管理技術を活用して、JICA((独)国際協力機構)、地方公共団体等から長大橋技術支援業務等を受託しました。

淡路SA(下り)リニューアル後の店内及び外観



来島海峡大橋送水管添架工事



経営状況の総括

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

連結決算における経常利益は12億円、特別利益(4億円)・法人税等を加減した結果、当期純利益は8億円となりました。

単位:億円

	連結決算				個別決算			
	平成25年度	平成24年度	増()減	前年比 (%)	平成25年度	平成24年度	増()減	前年比 (%)
営業収益	788	712	76	10.6	770	694	76	10.9
営業費用	779	703	75	10.7	766	690	75	10.9
営業利益	9	9	0.1	2.1	4	4	0.2	6.7
経常利益	12	12	0.06	0.5	6	6	0.1	2.5
当期純利益	8	8	0.4	5.6	4	4	0.4	11.1

[連結対象子会社]

会社名	主な事業
JBハイウェイサ - ビス(株)	料金收受管理、交通管理、SA・PA事業 等
(株)ブリッジ・エンジニアリング	点検管理、長大橋維持修繕 等
JBト - ルシステム(株)	料金收受機械保守整備、料金収入・交通量のデータ管理 等

高速道路事業の損益状況

- 料金収入(653億円)、道路資産完成高(85億円)などの営業収益741億円に対し、道路資産賃借料(466億円)、道路資産完成原価(85億円)及び管理費用(186億円)の営業費用が738億円となり、営業利益は2.4億円となりました。

単位:億円

	連結決算				個別決算			
	平成25年度	平成24年度	増()減	前年比 (%)	平成25年度	平成24年度	増()減	前年比 (%)
営業収益	741	677	63	9.4	740	676	64	9.5
料金収入	653	639	14	2.1	653	639	14	2.1
道路資産完成高	85	35	50	140.7	85	35	50	140.7
その他の売上高	1	2	0.3	15.3	1	1	0.2	14.2
営業費用	738	675	63	9.3	738	673	64	9.5
道路資産賃借料	466	457	8	1.9	466	457	8	1.9
道路資産完成原価	85	35	50	140.7	85	35	50	140.7
管理費用	186	182	4	2.2	186	181	5	2.8
営業利益	2.4	1.8	0.6	36.0	2.9	2.8	0.1	4.7

関連事業の損益状況

- 休憩所等事業収入(14億円)及び受託事業等収入(32億円)の営業収益47億円に対し、休憩所等事業費用(9億円)及び受託事業等費用(31億円)の営業費用が40億円となり、営業利益は7億円となりました。

単位:億円

	連結決算				個別決算			
	平成25年度	平成24年度	増()減	前年比 (%)	平成25年度	平成24年度	増()減	前年比 (%)
営業収益	47	35	12	34.8	29	17	11	66.3
休憩所等事業	14	15	0.5	3.5	3	3	0.6	16.1
受託事業等	32	19	12	65.0	26	14	12	88.5
営業費用	40	28	12	45.4	28	16	11	70.5
休憩所等事業	9	9	0.02	0.2	2	2	0.3	12.3
受託事業等	31	18	12	68.6	26	14	12	85.8
営業利益	7	7	0.4	6.3	1	1	0.1	11.2
休憩所等事業	5	6	0.5	8.6	0.9	1	0.2	24.2
受託事業等	1	1	0.07	6.3	0.4	0.05	0.4	795.2

資産・負債の状況

- 高速道路事業については、ETC設備、料金收受機械設備等を更新しました。また、料金収受員が横断移動するための安全通路を設置しました。
- 資産の総額565億円に対し、負債の総額は430億円となり、純資産の総額は、前年度末から19億円減少した135億円となりました。

ETC設備



安全通路



財政状況(貸借対照表)

(平成26年3月31日現在)

単位:億円

区 分	連結決算			個別決算		
	平成25年度	平成24年度	増()減	平成25年度	平成24年度	増()減
資 産	565	541	23	502	483	18
流動資産	349	317	32	328	295	32
固定資産	216	224	8	173	188	14
負 債	430	387	42	366	352	13
流動負債	174	159	14	167	150	17
固定負債	255	227	27	198	201	3
純資産	135	154	19	135	131	4
株主資本	162	154	8	135	131	4
資本金	40	40	0	40	40	0
資本剰余金	40	40	0	40	40	0
利益剰余金	82	74	8	55	51	4
その他の包括利益累計額	27	-	27	-	-	-
(負債・純資産合計)	565	541	23	502	483	18

平成26年度業績見通しについて

平成26年度業績見通しは、連結で3億円の利益を見込んでおります。

単位：億円

	連結業績見通し			個別業績見通し		
	平成26年度 (業績見通し)	平成25年度 (決算)	増()減	平成26年度 (業績見通し)	平成25年度 (決算)	増()減
営業収益	767	788	21	751	770	20
高速道路事業	723	741	18	723	740	18
関連事業(うち休憩所等事業)	44(16)	47(14)	3(0.7)	28(4)	29(3)	2(0.6)
営業費用	764	779	16	751	766	15
高速道路事業	723	738	16	723	738	15
関連事業(うち休憩所等事業)	40.7(13)	40.7(9)	0.1(3)	28(4)	28(2)	0.3(2)
営業利益	4	9	6	0.04	4	4
高速道路事業	0.04	2	2	0.04	2.9	2.9
関連事業(うち休憩所等事業)	4(3)	6(5)	3(3)	0(0.5)	1(0.9)	1(1.4)
経常利益	5	12	7	0	6	6
当期純利益	3	8	6	0	4.5	4.5

平成26年度業績見通しについては、当社の現時点における事業計画ベースのものです。